

地域の活動を照会 「くろかわふるさとづくり推進協議会」

昭和63年に地域の美しい景観の保全と農林業の振興、地域文化の継承を目的に設立された地域づくり団体です。会員は、黒川全戸で様々な事業に取り組んでいます。その主要事業として「花などによる美しい景観づくり」です。この活動は、約10年前から始まり、国道361号線沿いに、花桃、つつじ、かえで、むくげ...と四季を通じて楽しめるような緑化木の植樹や水仙の球根の植付けを行っています。苗木は寄付していただいたり、県の補助金と、黒川住民からの会費で購入し、今までに500本以上を住民が主体となって植樹してきました。

5月20日には、黒川地区住民総会で花桃の苗木を100本国道沿いに植えました。



くらし部会に参加して 顧問 井口利夫

木曾福島地域に住む人の暮らしをよくするため、住んでいる人による本気の議論ができて「いいなあ、大丈夫だ」と思いました。第1回目の部会が開かれた五月八日の帰りでした。住んでいる地域を良くしたいという自分たちの強い思い溢れる発言やそのための課題、問題などがいっぱい出てきました。行政に頼らない行政との協働を土台とした発想、住民の安全、一人一人の住民への配慮、安心できる暮らしへの対策、地域行政の組織問題、地域の防災について命令系統明確化や住民意識の高め方、住民共同体が崩れていく現実、地域をもっと美しくしたい、女性の企画参加を、住民の命を守るために、木曾病院脳神経外科などの充実、人権への関心を強めたい、学校との懇談会を、携帯電話不通地区の解消、防災委員への期待などなどの発言がされ、さすが自治組織と思った。まだできたての木曾福島自治組織「皆の知恵と汗でいい町づくり」という一番大事なことの芽をこの部会から感じさせられました。

〔歴史をふりかえる〕
 『福島南所の復元』 南所跡は、昭和54年3月「国史跡」に指定され、文化庁や県文化課の指導を受けながら史跡公園にふさわしい周辺整備を進め、平成4年4月には東西の門が復元されました。柵、資料館入り、土塀、東屋なども整備され「江戸ロマンのふるさとづくり」は周辺の崖の石積みなどを含めて大きく進み、平成10年「福島南所」は東門から西門にかけて、史跡そのまの姿で資料館となつて、とびえ、270年余もの長い間、山村代が心血を注いで守ってきた者を思わせてくれています。

| | | |
|--------------------------|------------------|------|
| 地域協議会 | か わ ら 坂 | 自治組織 |
| 〒22-2001 木曾町木曾福島支所 | | |
| TEL. 22-2001 | | |
| FAX. 24-2406 | | |
| http://www.town-kiso.com | | |



◎げんきづくり部会
 ・ボランティアセンター・コミュニティ広場など町民誰いでもが参加しやすく、生かしのある場づくりを目指す

◎ものづくり部会
 ・各種団体・企業関係者が色々なアイデアを出し合い、特産品の開発につながるような部会を進めていく

◎くらしづくり部会
 ・行政との見直し、区の再編(統合・区割り)を区長会を中心に検討していく
 ・地域防災、防犯対策として危険箇所の点検マップづくりなどを進める

◎ひとづくり部会
 ・公民館・体協、各種サークル活動の中でそれぞれ人づくりに関わっているが、この部会としてテーマを定めグループ分けし、ワークショップ的に幅広く意見を交換しながら関わっていく

◎まちづくり部会
 ・イベント関係(祭り等)に関わり町民が参加、協力をできる体制づくりを検討する

『地域協議会・各部会報告』
 去る5/8の場で5部会が開かれ、5/22日にその報告会が行われました。今後検討していく主な活動を住民の皆さんの意見を取り入れながら進めていきます。